

久高島沖大型魚礁調査

1 調査の概要

(1) 調査年月日

昭和51年10月31日

(2) 調査方法

設置状況調査……レーダー、山立ておよび魚群探知機で魚礁設置場所を確認の上ブイを投入し、そのブイを中心に羅針儀で16方位（測定後自差修正）に毎分207 *m*の速さで航走し、魚探により調査した。

漁獲試験……片天秤による1本釣り6人で操業（操業時間は13時～16時）釣針は19号、21号（マチ釣針）を使った。

(3) 調査機器類

レーダー、魚群探知機（KODEN SR-660 TYPE 12）、1本釣り

(4) 調査船舶

くろしお（21.44トンD 100馬力）

2 調査の結果

1図で魚礁位置と山立て図、2図で魚礁配置形態模式図、3図で主要断面図（魚探記録例）、1表で漁獲試験結果を示した。

(1) 設置場所及び山立て方法

a 設置場所……久高島北端より真方位83度7,000 *m*

lat 26°-10'-33" N *long* 127°-58'-54" E

b 山立て方法……①ウガン岩と知名崎が一直線

②津堅島灯台と勝連城跡からさがって平らのところが一直線

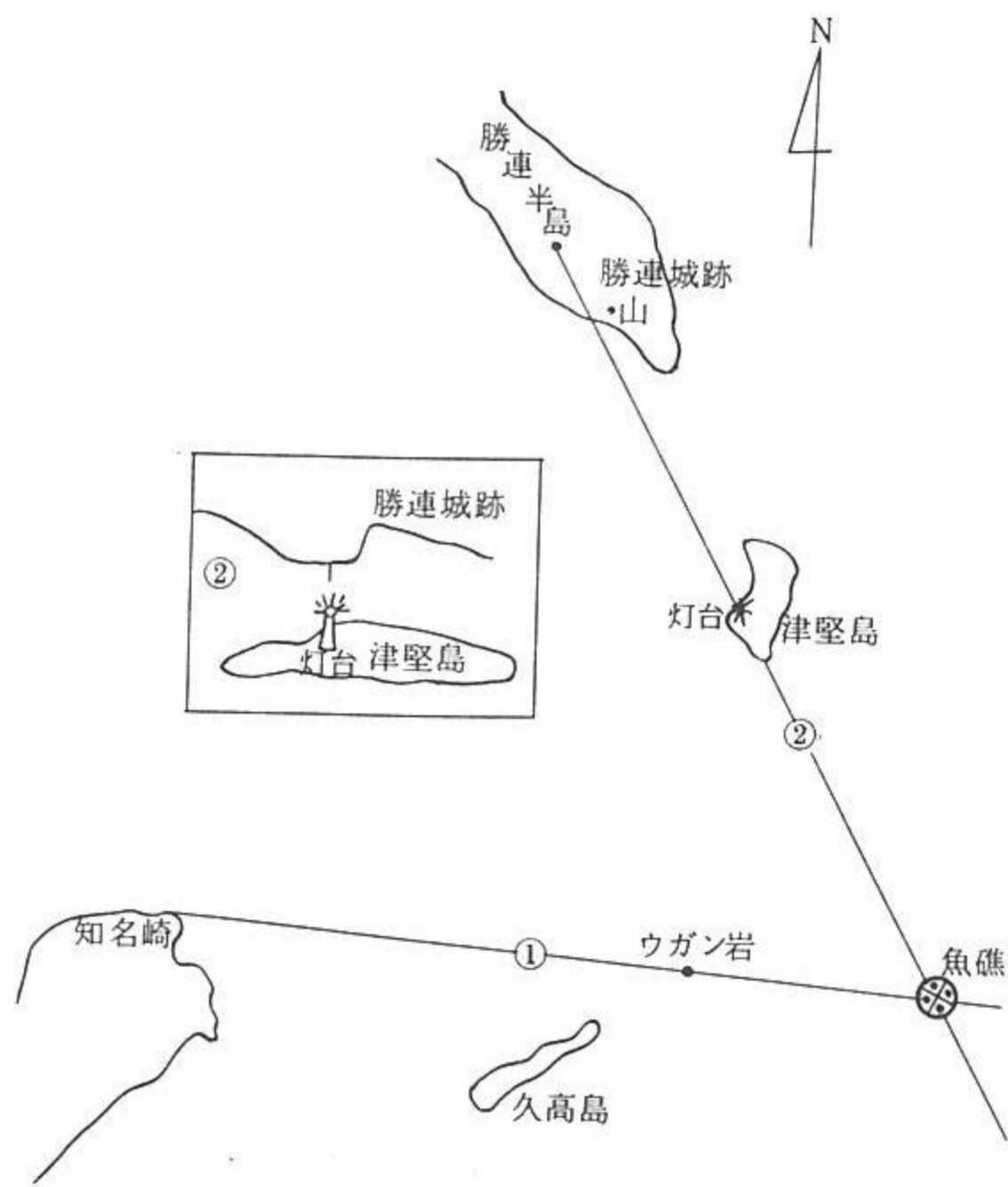
(2) 設置時期 昭和50年度

(3) 設置個数 コンクリートブロック 1.5 *m*角 880個

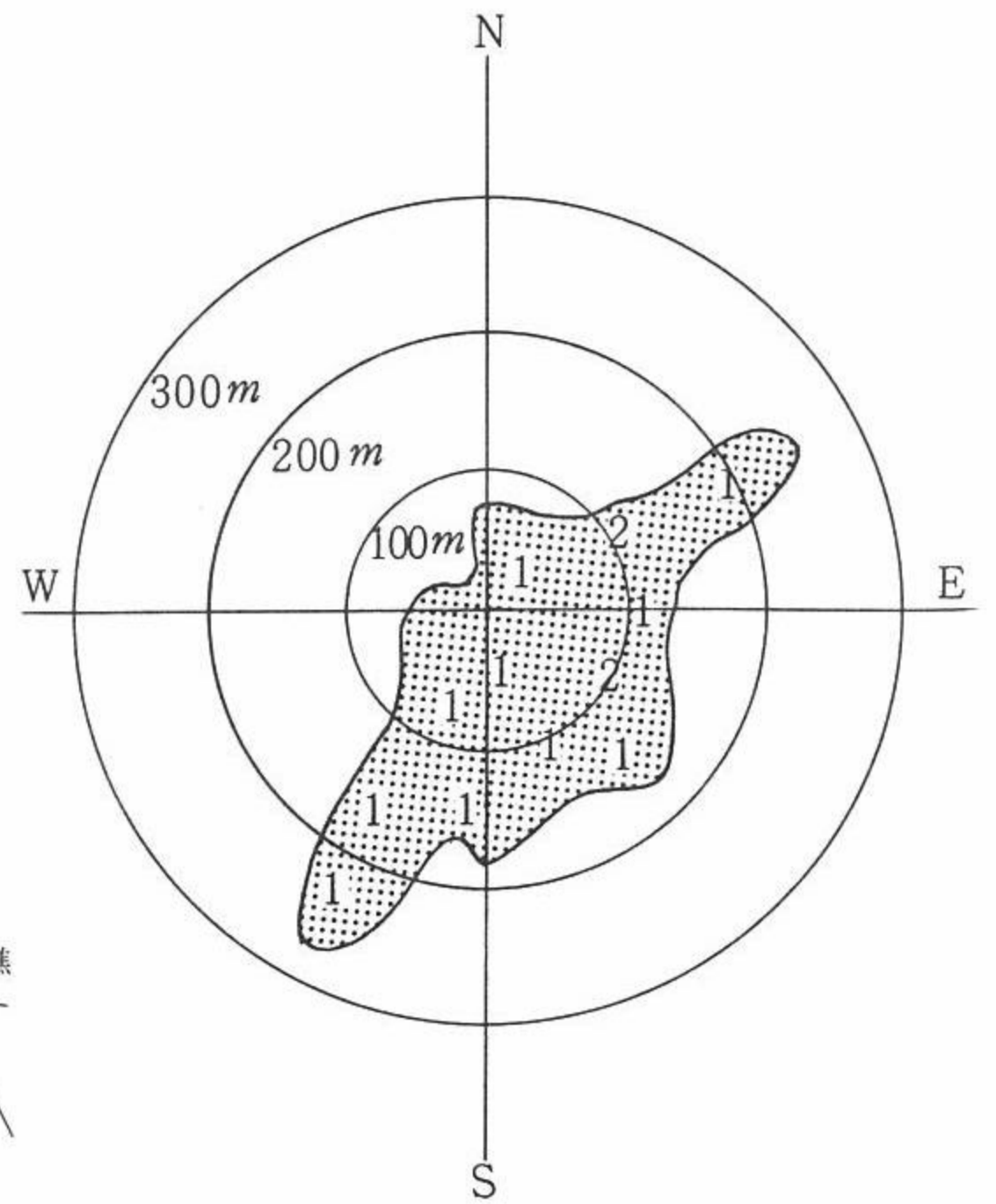
(4) 設置形態 2図のとおり細長い形状で長さは最長約550 *m*である。高さは2段積みは少なく1段積み広がる形状になっている。

(5) 漁獲試験 アジ科2種4尾、ハタ科1種2尾、フェフキダイ科2種5尾、キントキダイ科1種2尾であった。その結果は表1のとおりである。

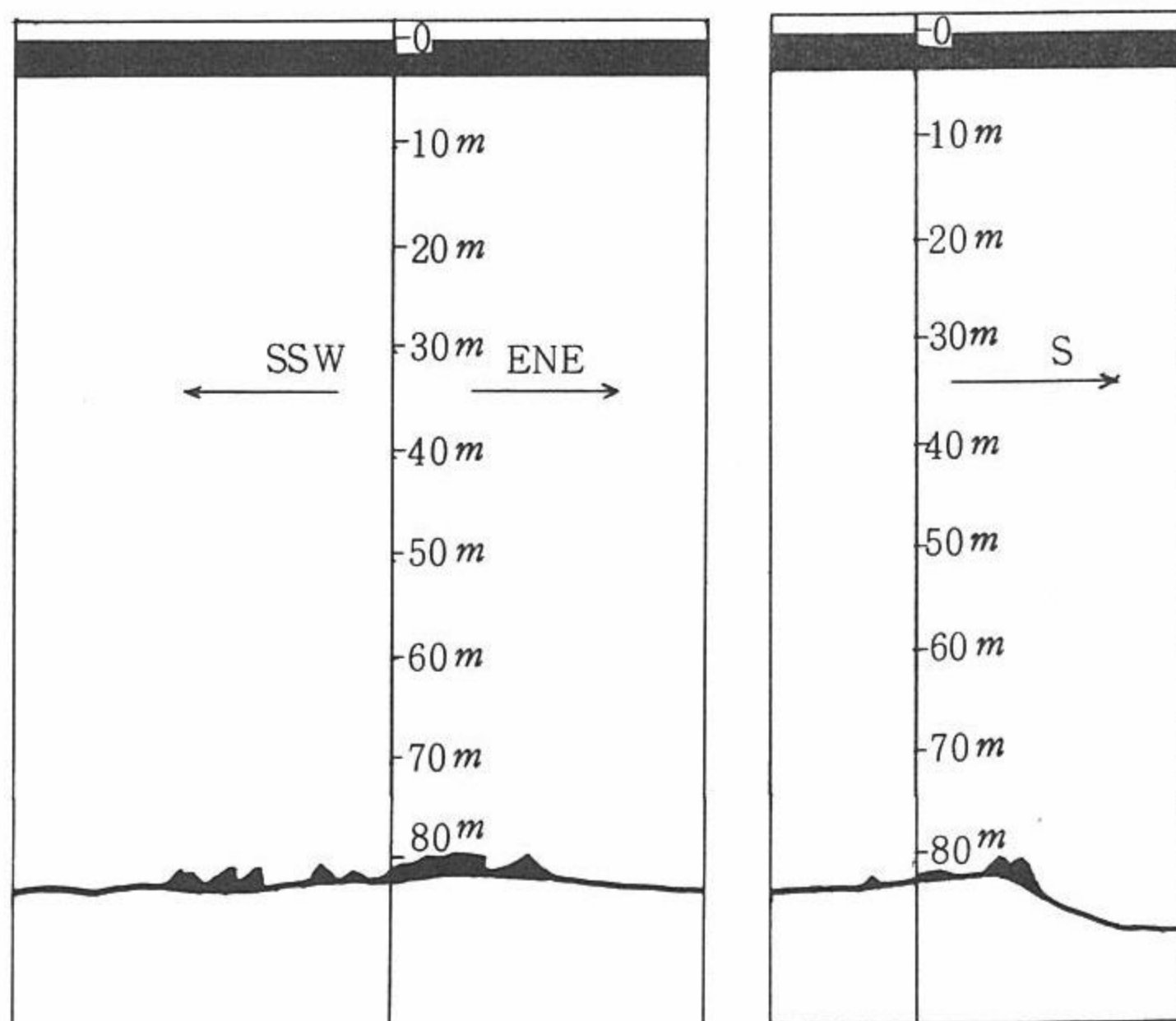
1 図 魚礁位置と山立て図



2 図 魚礁配置形態模式図



3 図 主要断面図 (魚探記録例)



1 表 漁獲試験結果

調査年月日	51. 10. 31	
調査船舶	くろしお	
調査員	久貝	
調査回数	1	
調査漁具	1本釣6人 釣針数6本	
釣獲率		
漁獲量	12,810 g	
尾数	29	
漁獲物	カンパチ	2 (3,510 g)
	ホオモンハタ	2 (1,440 g)
	ホオアカクチビ	4 (1,820 g)
	ムネアカクチビ	1 (940 g)
	ロクセンフエダイ	16 (3,190 g)
	ホウセキキントキ	2 (310 g)
	カイワリ	2 (1,600 g)